

向日葵

ひ ま わ り

第38号

令和6年9月1日発行

発行所
三條市農業委員会



就任のあいさつ

三條市農業委員会 会長

栗原 一郎



5月1日開催の農業委員会の初総会におきまして、農業委員会会長という大変な重責を担うことになりました。三條市の農業発展のため、努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。近年の日本の農業は、農業者の高齢化や後継者・担い手不足と、それらに伴う遊休農地や耕作放棄地の拡大等の様々な課題を抱えております。このような課題を解消するため、市町村は令和7年3月末までに地域の将来の農業のあり方を示す地域計画を策定するよう義務付けられ、将来の目標等を記載した計画書と、農地の集積・集約目標を図面化した目標地図を作成し公表することとされました。

農業委員会では5月1日から新体制となり18名の農業委員と18名の農地利用最適化推進委員が一致協力して、事務局と関係機関と相互に連携し協力をしながら取り組んでいるところです。また、食料・農業・農村基本法の改正法案等が令和6年5月29日に成立し、食料安全保障や食料の安定供給を実現するため、農地の確保がますます重要になっております。農業資材等の高騰など大変な時期ではありますが、農業委員会では新たな担い手の確保と新規就農者の参入を促進し農業者の信頼に応え、未来の子供たちへ優良な農地を残せるよう努めてまいりますので、今後も皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

※（ ）内は住所

三条地域

農業委員



志田 洋一
(井戸場)



山倉 広
(月岡4丁目)



佐藤 直人
(東鱈田)



飛岡 雅史
(上保内)



井上 利弥
(北四日町)



五十嵐 弘作
(塚野目6丁目)



田邊 健一
(井栗3丁目)

農地利用最適化推進委員



青木 誠一
(柳場新田)



北澤 正之
(鶴田3丁目)



駒形 徹
(五明)



中澤 伸一郎
(西鱈田)



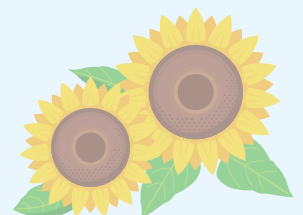
新飯田 雅樹
(嘉坪川1丁目)



平松 広之
(下須頃)



渡辺 秀人
(柳沢)



栄地域



榎原 一郎
(猪子場新田)



小池 秀一
(茅原)



瀬高 栄津子
(尾崎)



小師 栄一
(山王)



鈴木 範男
(尾崎)





岡崎 耕一郎
(前谷内)



小出 和哉
(北潟)



高山 弘則
(新堀)



丸山 由夫
(貝喰新田)



山寄 哲矢
(渡前)

下田地域



坂井 浩行
(名下)



早川 直子
(庭月)



山屋 和徳
(長沢)



笹岡 大介
(駒込)



吉田 昇
(森町)



熊倉 睦
(新屋)



川上 利男
(檜山)



小林 克洋
(濁沢)



佐々木 一光
(棚鱒)



堀江 義栄
(曲谷)



山谷 秀昭
(下大浦)



若林 昌広
(南中)

農業委員・農地利用最適化推進委員の紹介

会 長 榎 原 一 郎
会長代理 井 上 利 弥
農政対策部会 部 会 長 吉 田 昇 一
部会長代理 志 田 洋 範
第1調査部会 部 会 長 山 屋 和 徳
部会長代理 五十嵐 弘 作

第2調査部会 部 会 長 山 倉 広 郎
部会長代理 岡 崎 耕 一 郎
第3調査部会 部 会 長 小 池 秀 一 介
部会長代理 笹 岡 大 介
農業委員会だより編集委員会 委 員 長 飛 岡 雅 史
副委員長 瀬 高 栄 津 子
若 林 昌 広

農業者年金加入推進部 部 長 佐 藤 直 哲
人 矢 子 一 栄
副 部 長 山 早 青 小 堀 木 師 江 栄 義

農業委員・農地利用最適化推進委員の担当地域表

(三条地域)	
担当委員	担 当 地 域
新飯田雅樹(推)	嘉坪川・荒町・石上・栗林1・栗林2・上田島・東三条・北中・興野・一ノ木戸・裏館・新光
井上 利弥(農)	四日町・島田・西本成寺1～西本成寺3・東新保・曲淵・北新保・南新保・直江町
五十嵐弘作(農)	塚野目1～塚野目8
青木 誠一(推)	柳場・須戸・柳川1～柳川4・三貫地
北澤 正之(推)	鶴田1～鶴田3・下谷地・敦田
田邊 健一(農)	井栗西部1～井栗西部4・井栗中部1～井栗中部3・井栗東部1～井栗東部3・西潟・牛ヶ島・三柳・北野・白山
駒形 徹(推)	五明・東本成寺・土場・西中・下新田・片口・新保・枝郷・緑ヶ丘
山倉 広(農)	月岡・如法寺・諏訪
中澤伸一郎(推)	西鱈田・吉田・長嶺
佐藤 直人(農)	東蔵・金子・袋・南入蔵・入蔵
飛岡 雅史(農)	東明寺・中東・田中・合屋・上野原・三竹・下坂井・北入蔵・麻布・竜場・中新・漆島・西大崎
渡辺 秀人(推)	向ヒ村・高田・成沢道上面・布施谷・布施和田・二ツ山・本所・中村・中央・赤坂宮ノ浦
平松 広之(推)	上須頃上・上須頃東・上須頃中・上須頃下・下須頃上・下須頃下
志田 洋一(農)	大島1～大島3・荻島上・荻島下・代官島上・代官島中・代官島下・井戸場

(栄地域)	
担当委員	担 当 地 域
山崎 哲矢(推)	小古瀬・中島・千把野新田・渡前・善久寺・芹山・中曾根新田
鈴木 範男(農)	尾崎・鬼木新田・鬼木・岡野新田
瀬高栄津子(農)	貝喰新田・今井・今井野新田・泉新田
丸山 由夫(推)	猪子場新田・一ツ屋敷新田・福島甲・福島丙
榎原 一郎(農)	新堀・福島乙・東光寺・若宮新田
高山 弘則(推)	北潟・小滝・高安寺・大面・矢田
小出 和哉(推)	茅原・吉野屋・蔵内・安代
小池 秀一(農)	前谷内・帯織
岡崎耕一郎(推)	山王・岩淵・戸口・栄荻島
小師 栄一(農)	

(下田地域)	
担当委員	担 当 地 域
川上 利男(推)	檜山・花淵・上組・中組・下組・中野原・荻堀上・荻堀下
山屋 和徳(農)	長沢・原上・原下・桑切・大沢・笹巻・福沢
笹岡 大介(農)	駒込上・駒込中・駒込下・広手・大平
山谷 秀昭(推)	高屋敷・滝谷・島潟・福岡・高岡・下大浦・馬場・上大浦
小林 克洋(推)	遅場・葎谷・濁沢・早水・牛野尾・長野
坂井 浩行(農)	名下・栗山・塩野潟・笠堀・大谷地・南五百川・北五百川・院内
佐々木一光(推)	棚鱒・荒沢・小長沢
吉田 昇(農)	森町・田屋
早川 直子(農)	庭月・八木前
堀江 義栄(推)	曲谷・上飯田・中飯田・下飯田・鹿峠・小外谷
若林 昌広(推)	南中・島川原・江口
熊倉 睦(農)	新屋・牛ヶ首・落合・上谷地・蝶名林・中浦・鹿熊

※(農)は農業委員、(推)は農地利用最適化推進委員

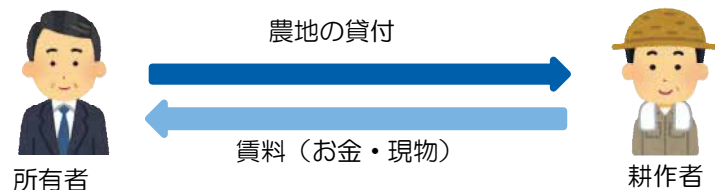
農地の貸し借りの手続が変わります！

一般的に利用されている農地の貸し借りの契約には①・②がありますが
令和7年4月1日以降は①の手続が廃止となります。

① 利用権設定等促進事業(通称:相対契約)

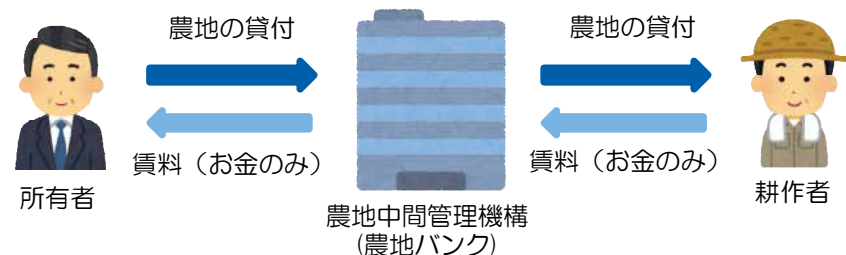
※所有者と耕作者の契約

令和7年4月1日以降
廃止！



② 農地中間管理事業(通称:農地バンク)

※所有者と耕作者の間に「農地中間管理機構」が入った契約



- ・賃借料の支払いは口座振替のみです。
(お米などの現物で納めることができません。)
- ・賃貸借契約の場合、所有者・耕作者ともに手数料が発生します。

ただし！

令和7年3月10日までは相対契約が利用できます！

- ※新規の利用権設定・更新の手続ともに可能です。
- ※現在契約中の貸し借りは期間満了まで有効です。

ご不明な点は農業委員会事務局までお問い合わせください。

令和6年度

三条市農業委員会事業計画

I 基本方針

農業・農村を取り巻く情勢は、農業者の高齢化・減少の進展、集落機能や地域経済力の減退、担い手不足・耕作放棄地の増加による農業生産基盤の縮小、米需要の減少など、依然として厳しい状況となっている。さらに、気候変動による食糧生産の不安定化、自然災害や円安による資材の高騰など、課題が山積している。

こうした状況を踏まえ、「農地を守る」「担い手の育成・確保」といった農業委員会の役割がますます重要となっており、農業委員・農地利用最適化推進委員一人ひとりが地域の農業者の代表であることを強く自覚し、公平・公正で、開かれた三条市農業委員会として農地法等に基づく業務を執行する。

加えて、現在進められている「地域計画」の策定に向け、農業委員会は意向調査により農地の「出し手」「受け手」など地域の実情を把握し「目標地図素案」を策定するという重要な役割を担っている。また、「地域計画」の策定に当たっては、市の農政局等と連携し、地域の話し合いに積極的に関わるなど、担い手への農地集積を図る。併せて、これまで以上に農業・農村現場に密着した「目に見える活動」を実践し、農業委員会だより「向日葵」等により有益な情報発信を行なうとともに、関係団体と連携し、農地等の農業上の利用の確保、経営規模拡大、集団化、新規参入の促進など「農地利用の最適化」を図り、地域農業の持続的な発展を推進し、農業者の信頼と期待に応えていくことを基本方針として活

動する。

II 事業計画

- 1 会議等
(1) 定例総会 毎月1回開催
(2) 臨時総会 必要に応じて開催
(3) 調査部会 定例は毎月1回、その他必要に応じて開催
(4) 農政対策部会 必要に応じて開催
(5) 特別調査部会 必要に応じて開催
(6) 作況調査検討会 1回開催
(7) 和解の仲介委員会 必要に応じて開催
- 2 研修会・講演会の開催
農業委員会活動の活性化と農業者・農地利用最適化推進委員の資質向上を図るため、次により研修会等を開催する。
(1) 南蒲原農業委員会協議会と共催で、研修会・講演会を開催する。
(2) 定例総会終了後、必要に応じて委員・推進委員研修会を開催する。
- 3 視察研修の開催
農業委員会活動の活性化と農業者・農地利用最適化推進委員の資質向上を図るため、次により視察研修を開催する。
(1) 農業委員及び農地利用最適化推進委員
- 4 農地制度に基づく権利移動及び転用の規制、利用関係の調整等の推進
(2) 推進委員先進地視察研修 1回
農地法等を遵守し「農地の効率的な利用」「優良農地の確保」等の農地制度の基本的な考えに基づき、資産目的等での農地の権利移動や農業上の利用に支障となる転用を規制し、効率的に農地を利用する者への農地の権利移動についての調整等を行う。
(1) 農地の権利移動を調整し、全部効率的利用、農作業常時従事や地域との調和等の全ての許可要件を満たすかを審議
(2) 農地転用は、立地基準、一般基準の全ての許可要件を満たすかを審議
(3) 無断転用防止と遊休農地(耕作放棄地) 防止・解消に向けた活動
(4) 農地政策見直しについては農地制度の根幹の維持を求める活動
(5) 農業所得の向上など地域農業の持続的発展のため、関係団体と連携を図り次の活動を実施する。
(1) 農業者の立場に立った建議、意見公表、要望活動の実施
(2) 農林関係予算の確保対策
(3) 担い手(法人含む) 確保・育成に向けた取組
(4) 環境にやさしい農業と安全・安心な農業の振興
- 5 農政対策の推進
(1) 農業所得の向上など地域農業の持続的発展のため、関係団体と連携を図り次の活動を実施する。
(1) 農業者の立場に立った建議、意見公表、要望活動の実施
(2) 農林関係予算の確保対策
(3) 担い手(法人含む) 確保・育成に向けた取組
(4) 環境にやさしい農業と安全・安心な農業の振興
- 6 農地銀行活動事業の推進
農業の担い手に対して利用権等を集積し、経営規模の拡大を図ることを目的として農地銀行活動事業を推進する。特に新規の利用権設定のための掘り起こしや相談活動を強化するものとする。
- 7 情報発信の推進
農業者に有益な情報発信を推進するため、農業委員会だより編集委員会で検討し年2回発行する。
- 8 農業者年金制度の推進
加入推進部長を中心として農業者年金の普及拡大を図るため、次の事業を行う。
(1) 新農業者年金制度の普及と定着
(2) 新農業者年金加入者の拡大及び目標の達成
(3) 年金相談活動の充実
(4) 新規受給者を対象とした研修会の開催
- 9 「全国農業新聞」等の普及拡大
全国農業会議所が発行する「全国農業新聞」及び「全国農業図書」の普及拡大に努め、農業者への的確な情報提供活動を推進する。

女性農業者のみなさんへ

農業者年金は今のあなたと
老後のあなたを応援します

老後生活
への備えは
十分ですか？



ポイント1 「終身年金」で、女性の長い老後を**しっかりサポート**します。

ポイント2 家族経営協定を結べば**保険料の国庫補助**も受けられます。
女性の農業経営への参画を**しっかり応援**します。

ポイント3 税制面で**大きな優遇措置**

詳しくは、三条市農業委員会事務局までお問い合わせください。
電話：0256-34-5635（直通）



農業への挑戦



渡邊賢司 三条

造園や庭木の産地として発展してきた保内地域で、お米の栽培をしている渡邊賢司さん（47歳）を訪ねました。
Q いつから就農したのですか？
A 県外や他の産地の職を経験し、12年前に就農しました。父の指導や地域の先輩からの助言を受け、家族経営で16ヘクタールの水稲を作付けしています。

Q 知見がないところからの米作りに不安はなかったのですか？
A 米が儲かるように見えたのですが、実際は違ってました。不安はありませんでした。最初は水稲の整理や作業手順を覚えるのに必死でした。今では、近年の気象変動の中でも安定して収穫できるように、こいぶきやコシヒカリ等多品種を栽培し、早期収穫と丁寧な乾燥調整に特に気を遣う必要があることがわかり、少しコツをつかんだと思っています。

Q 地域農業に感じることはありますか？
A 地域内の担い手が少ない状況の中で、農作業を委託する方が増え、現役の担い手に集中しています。



高齢化や規模拡大による設備投資を考えると、手間のかかる水田の作業委託は嫌がられ、受け手がいません。このような水田が年々増え、耕作放棄地となることを心配しています。

昨年の高温と乾燥は、稲の生育に悪影響を及ぼし収穫量や品質が低下しました。我が地域も水不足に悩まされ、収穫量や品質に影響がありました。特に下保内は酷く、圃場整備等で改善してもらえれば良いのと思っています。

Q これからの目標は何ですか？
A 「今ある農地は、先人が血のじむ努力を重ね原野を開墾してきたことから、次の世代に残さなければならぬ義務を負っている。」との父の教えを守りながら、これからも頑張りたいと考えています。

今回、渡邊さんにお話を伺い、地域の伝統的な技術や知識を守り、次世代へ伝える事に共感するところがたくさんありました。

素直に、当たり前の事を、当たり前にする事の大事さが、今に繋がっています。郷土愛から地域農業の担い手へと舵をとり、少し控えめに、考えながら、お米作りに取り組んでいる姿勢を応援していきます。

（田邊）

川通どれみ保育園との交流 栄

私の自宅の近くには、川通どれみ保

育園があり

ます。園児たちのにぎやかな声がいつも聞こえ、毎日元

気をもらっています。が、新型コロナウイルス感染症のまん延により令和2年1月頃から声が聞こえなくなりました。

自宅では300本近くのイチゴを栽培していますが、感染症が5類に移行する前の令和4年に、真っ赤に熟したイチゴを摘んで保育園に持参しました。その際、保育士の方に「みんなでイチゴ狩りに来ませんか？」と声をかけをしたところ、年中・年長の園児が全員マスクをしてイチゴ狩りに来てくれました。

このことがきっかけとなり、毎年園児がイチゴ狩りに訪れ、3年が経過しました。「わあかわいい」「甘いね」「でっかいよ」と園児たちの歓声が上がり、その姿を見ていると本当に癒されます。今年も、年長の園児が親子で笹団子づくりをした、と言って笹団子を持ってきてくれました。アンコが飛び出たものや、すげ紐がうまく結ばれていないものがありました。子供達の小さな手で一生懸命に作ったことを思うと美味しさが倍増しました。

これからも地域の宝である園児たちから元気をもらい、関わり続けていきたいと思っています。

（瀬高）

道の駅漢学の里したた 農産物直売所「彩遊記」 下田

下田

米はもちろん、新鮮な季節の野菜、山菜が手に入る道の駅漢学の里したたの農産物直売所「彩遊記」を訪れ、駅長の渡邊さんにお話を伺いました。オープン後は平成25年、商品が全く無いところから始め現在は130軒ほどの契約農家がいるということです。笹団子をはじめ各種スイーツを販売するほか、漬物等を作る様子も見られる食品加工所も併設されています。

「地産地消を推進し、お客様と生産者との交流の場を提供します」とのコンセプトのとおり、朝9時の開店時から取れたての野菜を陳列棚に並べる契約農家とそれを求めるお客様でにぎわっています。私もそういう客の一人です。

「興味のある農家さんにはぜひ契約を結んでほしい」と渡邊さんは仰っていました。数年のうちに国道289号線が開通し今以上に賑わうことでしょう。お忙しい中お話を聞かせた

（若林）



申請書の締切日は毎月10日です

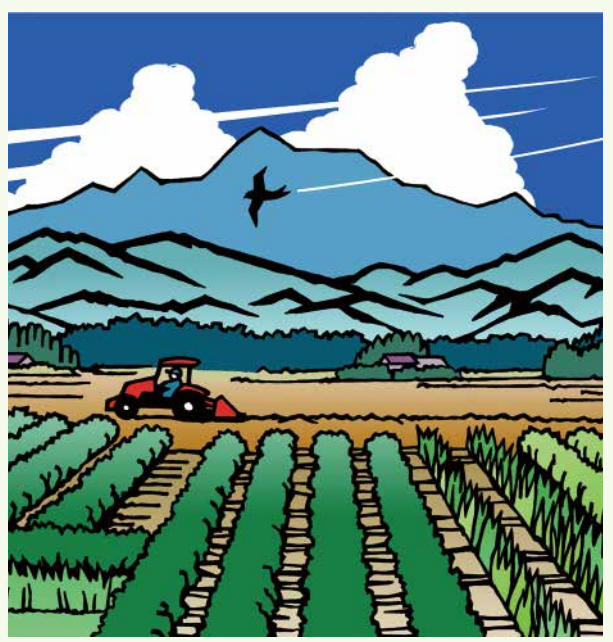
農地の売買や貸借、転用の許可申請などの締切りは、毎月10日です。(10日が休日の場合は直前の市役所開庁日となります)。

農地の売買、貸借などの締切日

農地法第3条、4条、5条、基盤強化法関係
9月10日(火) 10月10日(木) 11月8日(金) 12月10日(火)
1月10日(金) 2月10日(月) 3月10日(月)

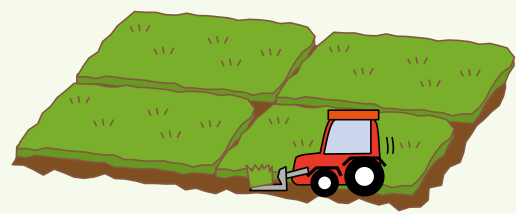
総会開催日

9月30日(月) 10月31日(木) 11月29日(金) 12月26日(木)
1月31日(金) 2月28日(金) 3月28日(金)



農地パトロール(農地利用状況調査)を実施中です!

農業委員会による農地パトロール(農地利用状況調査)を実施しています。農地の利用促進につなげるための情報収集を目的に、7月から管内の全農地を対象に、遊休農地はないか(耕作放棄をして農地が荒れていないか)、農地の違反転用はないか、不法投棄がないか等の調査を実施しています。



全国農業新聞

発行日 毎週金曜日(月4回)
購読料 月額700円(送料・税込)
申込先 農業委員会事務局
電話: 34-5635
(毎月15日までの申込みで、翌月から送付いたします。)

編集後記

今期から3年間、農業委員及び本誌『向日葵』の編集委員長となりました。すべてにおいて初めてのことばかりですが、諸先輩方や事務局の指導のもと、日々一つずつ学び少しでも早く戦力になれるよう力を尽して業務に努めてまいります。

なお、『向日葵』は私を含め編集委員9名と事務局で編集し、三条市の農業や農業委員会の活動など、農家の皆様に必要な情報を掲載しております。

より一層有意義な内容にするべく編集委員一同努力してまいりますので、ご意見等がございましたら事務局までご連絡くださるようお願いいたします。

(飛岡)

委員長 飛岡 雅史 副委員長 瀬高栄津子 若林 昌広
委員 田邊 健一 小出 和哉 小林 克洋 佐々木一光 丸山 由夫 渡辺 秀人

三条市LINE公式アカウント
友だち募集中
@sanjo-city
安全情報や暮らしの情報を配信中!